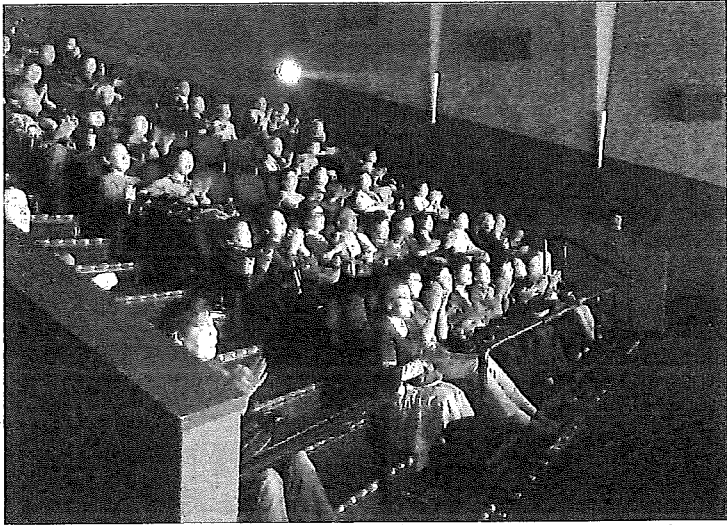


映画各社がシニア層の取り込みを急いでいる。シネマコンプレックスで懐メロを歌うコンサートを集中開催したり漫画と歌舞伎のコラボレーションを仕掛けて3世代にアピールしたりと多彩だ。高齢者が映画館に足を運ぶきっかけをつくり頭打ちの市場を活性化したい考えだ。

「なじみ深い」映画館で集客

イオンエンターテイメント(東京・港)の「歌声コンサート」は1時間半にわたり観客が懐かし



イオン系が開く「歌声コンサート」ではシニア層の元気な歌声が場内に響く

い歌謡曲を歌う。2015年8月に始め、これまで10劇場で75回開いた。今後イオンシネマ幕張新

イオン系 皆で懐メロ大合唱 松竹 ワンピース歌舞伎

認知症ケア、大学生が提案

渋谷区・川崎市 来年度以降活用へ

都心(千葉市)とイオンシネマ守谷(茨城県守谷市)を聖地にすべく11月から集中的に開催しリピーター率を高める。運営はイベント企画などのマイソングエンターテイメント(東京・渋谷)が手掛ける。スクリーンに歌詞を表示し、主催者が楽器や手ぶりを交えて観客の大合唱を誘う。入場料は1100円。60歳以上のシニア層が中心ターゲットで、人気の「カチューシャ」「青い山脈」などのほかりクエストを受け付ける。友人や夫婦で参加する人が多いという。平日午前中の開催が多く、劇場稼働率の向上にもつながる。

松竹は「スーパードラマ 伎ワワンピース」を10月から全国90館近くで上映する。映像ならではのカットを盛り込み2時間弱の作品に仕上げた。全国の映画館で上映するのは初めて。ワンピース歌舞伎は15年11月に上演し漫画と歌舞伎の異例の組み合わせが話題を呼んだ。シネマ歌舞伎は人気を得ており3世代の来場を狙う。

2社だけでなくシニアの取り込みは業界全体で加速している。業界団体・映画演劇文化協会が主催する「午前十時の映画祭」は参加劇場数が当初の10年に比べて2倍の55館まで増えた。世界各国の名作をシネコンで上演する取り組みで「懐かし作品を見たい」と足を運ぶ高齢者も多い。

新作映画には興味を持つ舞伎をきっかけに、懐かしい映画館に通うや映画、なじみのある歌は今後も続

カラオケで認知症対策
ツクイ、第一興商、【横浜】介護大手のツクイはカラオケ大手の第一興商と組み、カラオケ共同研究を始めた。市や松山市、

シニア おもてなし スケッチ

10年以上大切に乘ってきた愛車をついに手放すときがきた。これまで廃車手続きは中古車屋さん頼りだったが、今回はシニアの知り合いのすすめで自分で廃車と抹消手続きをしてみようと思った。PCで専門のサイトを覗き車種や年式、状態、個人情報を入力するだけで10社以上の査定業者を見つけてくれる。メールでのやりとりかと思っていたら、翌朝、各社からこぞって電話がかかってきた。1社と通話している間も次々と他社から着信が入る。慌てながらもメモを取ったが、

決め手は寄り添う共感力

会社名と担当者名を何度も聞き直すことになった。同時にメールでも査定の案内が届く。メモとメールを見比べながら検討したが、値段はどれも同じようなもの。途方にくれていると、屋敷に新たな業者から電話が入った。おだやかな女性の声で、他社とはひと味違う雰囲気があった。そして「長年大事に乗



ついでにいらしたお客さまのお車を、私どもが利用させていただきます。相言うではないか。相す喪失感を、ちゃんてくれるような温かシーンときた。

後日、シニアの知この一部始終を伝えるはその人もこの会社頼んだのだという。お客さまの心に寄り添う共感力の上で、選んだことであり、選んだ。各社が電話やメールでも営業攻勢をくると、共感力を感じてくれた。おだやかな女性の声で、他社とはひと味違う雰囲気があった。そして「長年大事に乗

知症高齢者にとって理想的な「ケアプラン」を作成できるツールの開発を進める。ケアマネジャーの力量にかかわらず、効果的なケアプランを作成

小林優一さんは書道家の経歴を生かし、書道を通じてコミュニケーション促進を訴える。認知症高齢者同士の新たなつながりを作る役割も期待でき

専修大3年の若林里歩さんは認知症高齢者と大学生の交流イベントを提案する。3Dプリンターを使って季節行事の装飾

夕自動車の小型ミニバン。リース期間満了時点で車を返却する。高年齢化で需要が高まる。返却する。年間リース料金される仕組み。オートカー